

## 中村哲先生記念特集号の刊行にあたって

安岡, 昭男 / YASUOKA, Akio

---

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

沖縄文化研究 / 沖縄文化研究

(巻 / Volume)

16

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

2

(発行年 / Year)

1990-03-20

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00002665>

## 中村 哲先生記念特集号の刊行にあたって

昨年七月をもって中村 哲先生は六年間の参議院議員の大役を無事おえられました。先生はこれからはすべての公務を離れて研究生活に専心したいと希望しておられます。中村先生は大学紛争の激しい時期に法政大学の総長になられて、約十六年間の長期にわたり困難の多い学校行政を担当され、法政大学の今日をもたらす基礎を確立なさいました。また、大学に中野好夫氏の「沖縄資料センター」の資料をゆずりうけて、それをもとにさらに発展させる形で、日本文化と南方文化の関わりを研究する研究所として沖縄文化研究所の創設に尽力されました。そして、初代所長として研究所の研究理念と方針を確立されました。研究所では一九七二年の創設以来、沖縄を中心とする琉球諸島の言語・文化についての総合的な研究所として活動し、その成果を年一回、紀要「沖縄文化研究」に発表してまいりました。中村先生が全ての公務から離れて、ますますお元気でこれから充実した研究生生活が続くことを祈念して、今年度の研究紀要を中村 哲先生記念特集号といたしました。中村先生が深くかわってこられた台湾・南中国と琉球の交渉史をめぐる論文、さらに、中村先生の人となりを知る友人各位には先生の思い出、趣味、エピソード、戦後このかたの多方面にわたる活動などについてエッセイをいただきました。この論文集をひとつの契約にして研究所では、沖縄を接点とする日本とアジア

の国々との交流の歴史をたずねる新しい視点を究めたいと思います。このような主旨に御賛同のうえ論文、エッセイをお寄せくださった先生方に謝意を表します。

一九九〇年二月十二日

沖縄文化研究所長 安岡昭男